

交通安全教室を実施

6月17日（水）、1年生を対象にした交通安全教室を実施しました。前橋警察署交通課にご協力いただき、自転車の交通安全に関する内容を中心に講義していただきました。現在は分散登校のため、同じ内容を24日（水）にも行います。

高校生の自転車事故の特徴としては、次のような点が指摘されました。

○ 事故原因で多いのは、「一時不停止」と「信号無視」

・交通事故に関与した車両等（自転車は車両です！）の運転者又は歩行者のうち過失が重い者を「第1当事者」といいますが、第1当事者となった自転車運転者の過失の多くは、「一時不停止」と「信号無視」です。いずれも交差点を通行する場合の過失です。交差点は要注意。

○ 時間帯は、朝の登校時が多い

・余裕を持った登校を心掛けましょう

○ 1年生が約4割

・とはいえ、2、3年生もそれぞれ約3割です。どの学年の生徒も自分のこととして交通安全に留意してください。

「道路には安全なところはひとつもない」、「(相手は自分のことに気付いてくれるだろうなどの)相手への依存は事故のリスクを高める」、「自分のいのちは自分で守る」など、多くのメッセージが印象に残りました。そして、「ヘルメットの着用」。

毎日、皆さんのかけがえのない命が、時には数十cmのところまで大型トラックなどと並走しているのです。交通ルールをしっかりと守り、ヘルメットの着用を是非とも考えてください。

「後悔をしない人生を生きたい」

「自分は決断する時に、自分でもコントロールできないことはどうしても存在すると思うのです。そこに関して、悩んでしまっても、自分ではどうすることもできないので仕方ない。すんなり、受け入れるしかない。じゃ、自分でコントロールできる範囲で何をすればいいのか、どうすれば自分が一番後悔しない道を選べるだろうかと考えるのです。前向きに次のことを考える、結果、後悔しない道を歩めるのではないかと考えています。」

先日、7人制ラグビーでの東京オリンピック

への挑戦を辞退することを表明した福岡堅樹選手（パナソニック）の言葉です。昨年のラグビー・ワールドカップで日本代表として何度もトライを重ね、その活躍が大きな話題となった選手です。

「後悔をしない人生を生きたい」と、かねてから目指していた医師となるべく、今後は大学入試へ向けて準備を本格化させるようです。新型コロナウイルス感染症の流行により東京オリンピックが延期されたことで、いろいろ考えるところは多かったのだろうと想像できますが、目標に向かって挑戦していく決意が感じられます。モットーは、故スティーブ・ジョブズ氏の「Stay Hungry. Stay Foolish.」だそうです。ジョブズ氏が、アメリカのスタンフォード大学の卒業式（2005年6月）で行ったスピーチの最後の方で紹介した言葉です。

このスピーチの中では、次のようなことも述べられています。「And most important, have the courage to follow your heart and intuition. They somehow already know what you truly want to become. Everything else is secondary.」自分の心と直感に従う勇気を持ちたいものです。

遅ればせながら今は、部活動が再開し、部編成が行われようとしています。過ぎていく時間を取り戻すことはできません。高校時代にしかできない部活動に、後悔しないために挑戦してみようではありませんか。

21日は夏至。北半球では昼が一番長い日です。こうした時期になると本格的に出まわり始める野菜の一つに「ミョウガ」があります。漢字では茗荷と書きます。茗荷には、「名前をになう、自分の名前を背負って歩く人」というような意味があります。なぜ、この野菜にそんな名前が付けられているのか？

ちょっと調べてみると、お釈迦様の弟子の一人「周利槃特（しゅりはんどく）」という人物の話が出てきます。（利を梨としている場合もあります）

茗荷の由来が、仏法が愚者も賢者も差別しない例として紹介されたり、一つのこと、なすべきことを愚直に行い、徹底することの大切さの例として紹介されたりしているのです。

興味がある人は、ショウガないなあと思って、ググってみてください。